

平成 2 1 年度第 6 回岐阜県事業評価監視委員会

【河川課所管事業資料】

○ 河川整備計画策定の報告

- ・ 牧田川圏域河川整備計画
- ・ 境川圏域河川整備計画
- ・ 土岐川圏域河川整備計画

平成21年度 河川整備計画策定一覽表

番号	担当課名	県事業		事業主体	事業名	路線名(地区名)	施工場所
		補助	県単				
9	河川課	○		岐阜県	牧田川圏域河川整備計画策定	杭瀬川、相川、泥川、水門川	大垣市他
10	河川課	○		岐阜県、岐阜市	境川圏域河川整備計画策定	境川、桑原川、大江山、荒田川、新荒田川	岐阜市他
11	河川課	○		岐阜県	土岐川圏域河川整備計画策定	土岐川、肥田川	多治見市他

河川整備計画策定の報告

- ・牧田川圏域
- ・境川圏域
- ・土岐川圏域

県土整備部 河川課

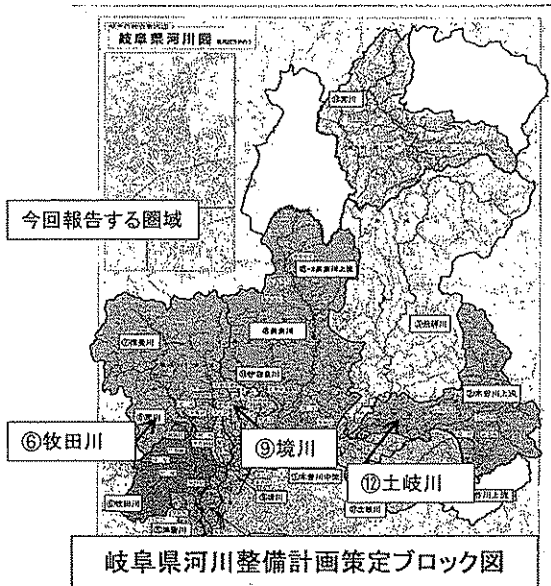
河川整備計画について

河川整備計画とは

河川法16条の2に基づき、学識経験を有する者の意見を聞き、関係住民の意見を反映させ今後30年間の河川整備の進め方を定めて、公表するもの。

県内河川の河川整備計画策定状況

これまで7圏域で策定済みであり、今回3圏域で策定し、残りは4圏域



◇策定状況		単位:圏域	
策定必要数	策定済み	今回策定	未策定
14	7	3	4

河川整備計画策定状況一覧表

水系番号	圏域名	主要河川名	策定年度	策定内容(記号)
1	木曽川	可児川、久々利川	H12~	
		藤原川、平島神川(濁川)、中野川	H17~H18	●
		濃尾川	H10~H12	●
2	大井川	大井川	H12~	
		清洲川	H10~H12	●
		龍川、久保川、新川	H11~H12	●
		龍川、大井川、馬川(岐阜)、伊藤川、光川、新野川、野野川、富田川、新野川	H12~H23	●
3	濃尾川	菅野川、横川、平野野川	H12~	
		藤原川、平島神川、新野川	H17~H18	●
		藤原川、大井川、濃尾川	H11~H12	●
4	上野川	伊豆川、馬淵川	H15~H18	●
		伊豆川、馬淵川、五木川	H19~H24	●
		馬淵川	H11~H14	●
5	庄内川	庄内川、新之井川、笠原川	H13~H21	●
		笠原川、新之井川、外瀬川	H19~H23	●
6	上川	大久保川、新野川、新野川	H10~H12	●
		高瀬川、新野川、新野川、新野川	H12~H15	●
7	各務原川	各務原川、新野川、新野川	H12~H15	●
		各務原川、新野川、新野川	H12~H15	●
8	美濃川	美濃川	H12~	
		美濃川	H12~	

河川整備計画について

河川整備計画と事業再評価との関係

- 河川整備計画の策定の際には、河川法に基づき、学識経験を有する者、関係住民、関係市町村長の意見を聴くこととしており、「岐阜県河川整備計画検討委員会」等を設け、意見聴取を行う。
- 河川整備計画の策定は、岐阜県公共事業再評価要綱により、事業再評価に代わる手続きとして定められている。

『岐阜県公共事業再評価要綱 第11条』（河川事業、ダム事業の取扱）

第11条 河川事業、ダム事業における再評価の実施手続きについては、河川法（昭和39年法律第167号）に基づく河川整備計画の策定変更の手続きの活用を図るものとし、河川整備計画の策定変更の際、河川法に基づき、学識経験者、関係住民、地方公共団体の長の意見を聴くにあたって学識経験者等から構成される委員会等が設置される場合は、監視委員会に代えて、当該委員会において審議を行うものとする。

- 河川整備計画の策定・変更の際、学識経験者から構成される検討委員会等が設置されている場合、本委員会に代わり審議を行うものとし、その審議結果を報告することとしている。

『岐阜県事業評価監視委員会運営要領第2の4』 河川整備計画の策定・変更の手続きによる場合の取扱

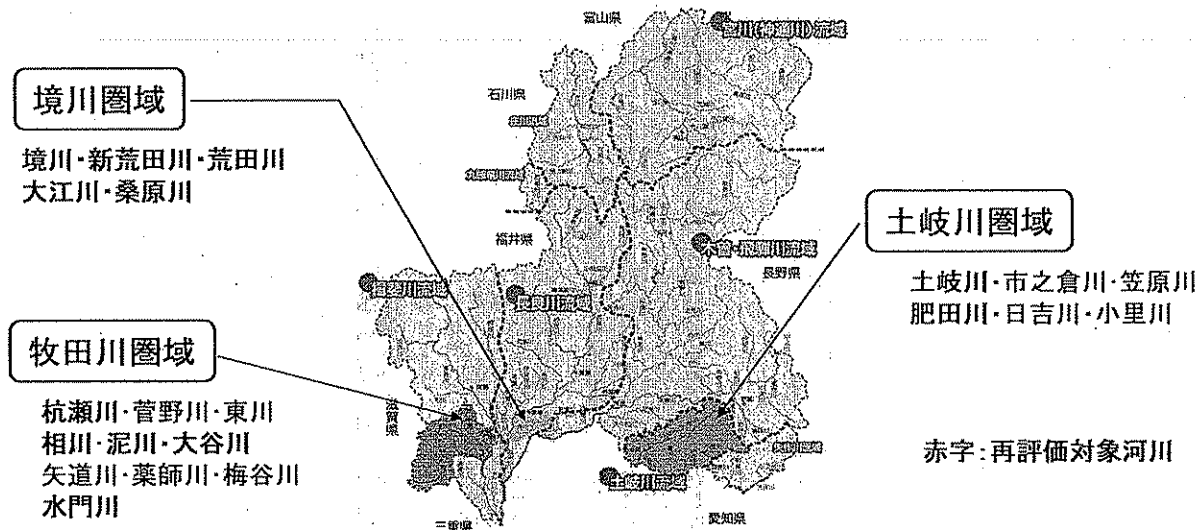
河川事業、ダム事業については、河川整備計画の策定・変更の際、学識経験者等から構成される委員会等（以下「流域委員会等」という。）が設置されている場合は、本委員会に代えて、当該流域委員会等において審議を行うものとし、その審議結果について、本委員会に報告するものとする。

今回報告内容について

対象河川

今回は下記3圏域での『河川整備計画』について報告

- ・木曾川水系 牧田川圏域 （牧田川圏域河川整備計画：平成21年7月策定）
- ・木曾川水系 境川圏域 （境川圏域河川整備計画：平成21年7月策定）
- ・庄内川水系 土岐川圏域 （土岐川圏域河川整備計画：平成21年7月策定）



牧田川圏域河川整備計画



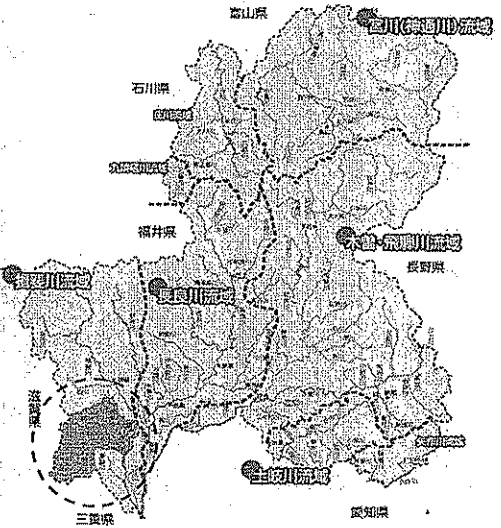
牧田川圏域の概要

流域面積：約393km²

幹川延長：約37km

流域内人口：約27万人

牧田川は大垣市上石津町南西部の鈴鹿山地を源とし、養老町、大垣市において各支川を合流させ、揖斐川に流入する一級河川



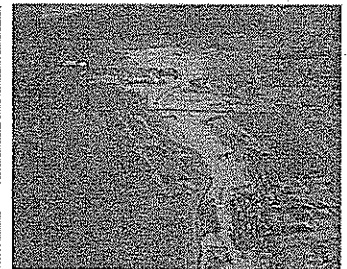
牧田川圏域の治水に関する現状と課題

過去の主な水害

発生年月日	発生原因	全半壊(戸)	床上(戸)	床下(戸)
S34.9.26	伊勢湾台風	666	17	1,690
S36.6.27	梅雨前線	-	2,765	8,244
S36.9.16	第2室戸台風	607	163	1,928
S46.8.31	台風第23,25,26号	1	165	3,370
S47.9.17	台風第20号	3	56	64
S49.7.25	豪雨	-	1,065	7,904
S51.9.12	台風第17号	3	4,630	10,030
H2.9.20	台風19号	-	214	874
H14.7.10	台風第6号	-	345	369
H16.10.20	台風第23号	-	33	419
H20.9.2	豪雨	-	22	139



相川、大谷川、泥川合流点の浸水状況(平成14年)



泥川(相川合流点付近)周辺の浸水状況(平成16年)

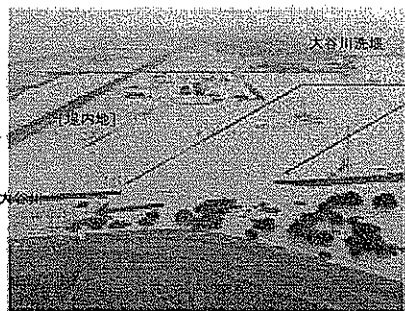
牧田川圏域河川整備計画



大谷川洗堰から越流した洪水



大谷川洗堰越流状況(平成14年7月10日)



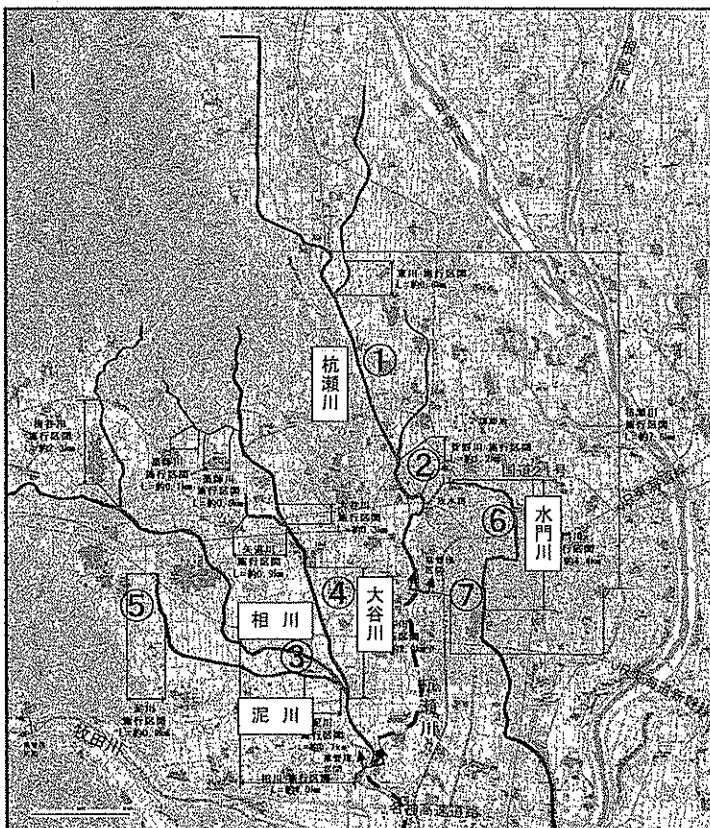
大谷川洗堰越流による浸水状況(平成14年7月10日)

発生年月日	洗堰の状況	発生原因	時間最大雨量(mm)	累計雨量(mm)	洗堰での越流水位	浸水面積(ha)
昭和29年~33年	設置 洗堰高TP.7.20m					
S34.9.8.13~14		台風第7号	不明	433.0	TP.8.41m	不明
S34.8.13~14		台風第11,12号	不明	不明	TP.7.91m	不明
S36.6.27~28		梅雨前線豪雨	不明	500.0	TP.8.45m	不明
S44.7.9		梅雨前線豪雨	17.0	175.0	TP.7.35m	不明
S45.8.16		集中豪雨	11.5	173.5	TP.7.40m	不明
S46.8.31~9.1		台風第23号	34.0	265.5	TP.7.95m	208
S47.9.17		台風第20号	49.0	214.5	TP.8.25m	214
S49.7.25~26		集中豪雨	60.0	319.5	TP.7.65m	167
S50.8.23~24		台風第6号	14.0	122.0	TP.8.05m	200
S51.9.11~12		9.12豪雨	40.0	768.0	TP.8.85m	238
S55	設置 洗堰高TP.7.80m					
S58.6.20~6.21		集中豪雨	30.0	237.0	TP.8.00m	150
H1.9.7		集中豪雨	25.0	152.0	TP.8.00m	160
H2.9.20		台風第19号	28.8	282.0	TP.8.55m	223
H12.9.11		集中豪雨	42.5	260.5	TP.7.83m	15
H14.7.10~11		台風第6号と梅雨前線豪雨	48.0	263.0	TP.8.77m	234
H16.10.20~21		台風第23号	63.0	290.0	TP.8.36m	178
H19年度	設置 洗堰高TP.8.85m					
(参考)H20.9.2~3		豪雨	50.0	149.0	TP.8.47	越流なし

【治水上の課題】

- ①杭瀬川流域では、塩田橋より上流の杭瀬川本川及び東川において5年に1度の洪水に対応できない区間がある
- ②菅野川流域では、杭瀬川合流点付近で杭瀬川の氾濫により近年でも浸水被害が発生
- ③相川流域では、相川本川、泥川、大谷川及び矢道川において揖斐川の背水の影響により近年でも大きな浸水被害が発生
- ④特に大谷川洗堰では上流からの洪水も相まって越流が生じ、甚大な被害が発生
- ⑤泥川上流部、薬師川及び梅谷川において、10年に1度の洪水に対応できない区間がある
- ⑥水門川流域では、近年、流域内の急激な宅地化に伴い、流域の持つ保水・遊水機能が極端に低下し、降った雨が短時間で河川へ流入するため、平成12年9月、平成14年7月、平成16年9月、平成16年10月、平成17年7月、平成19年7月と連続して、浸水被害が発生
- ⑦高橋より上流において、5年に1度の洪水に対応できない区間がある

河川工事の目標と施工場所



杭瀬川	}	概ね5年に1度の洪水に対応
菅野川		
東川	}	平成14年7月洪水に対応
相川		
泥川		
大谷川		
矢道川		
薬師川		
梅谷川		
水門川	概ね5年に1度の洪水に対応	

凡例	
-----	国土交通省管理区間
—————	県管理区間
▬▬▬▬▬	河川整備計画の対象区間
□	再評価対象河川

再評価対象事業

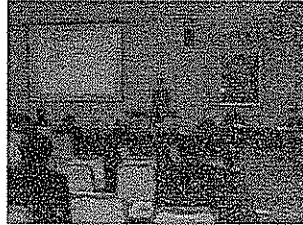
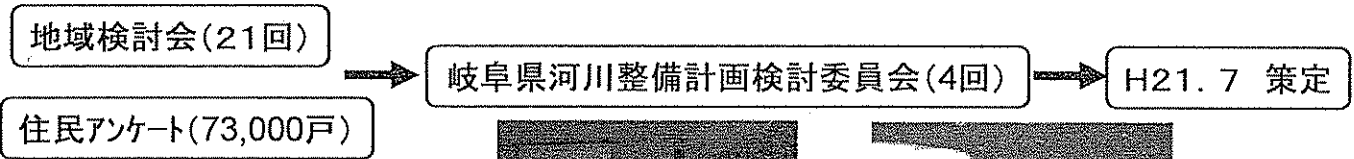
河川名	区間延長	着手年度	B/C
杭瀬川	7.6km	S25	5.0
相川	4.0km	S31	14.1
大谷川	3.2km	S42	14.1
泥川	1.6km	S51	1.5
水門川	4.4km	S36	2.2

牧田川圏域河川整備計画



河川整備に関する意見

整備計画を立案するにあたって、関係住民の意見を聴くため地域検討会、学識経験を有する者などの意見を聴くため岐阜県河川整備計画検討委員会を開催



地域検討会状況



整備計画検討委員会状況

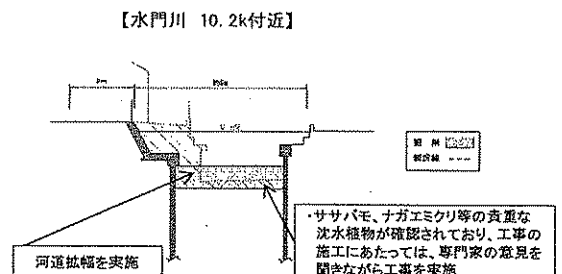
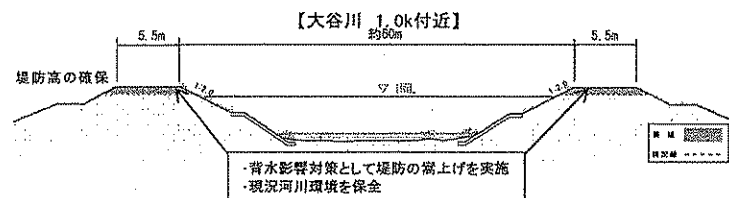
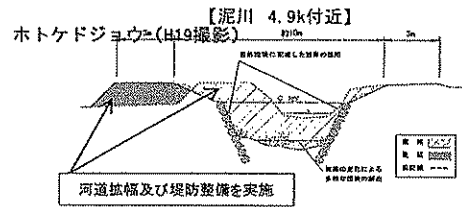
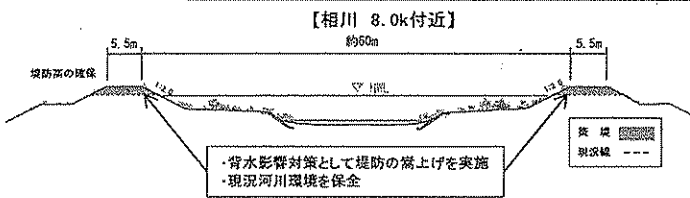
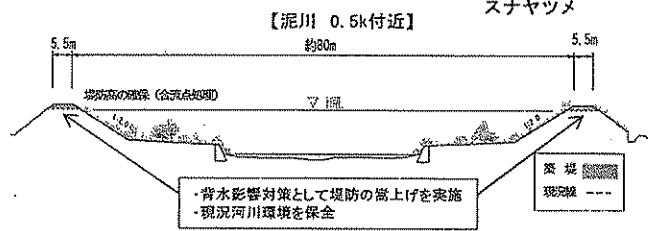
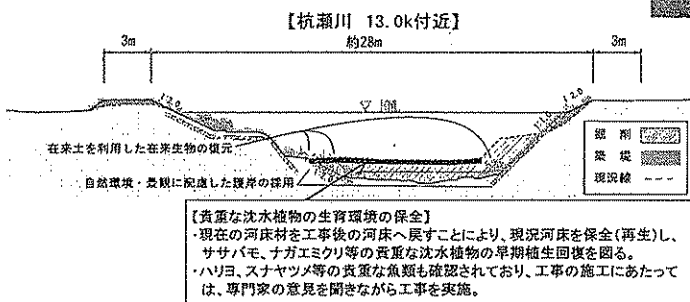
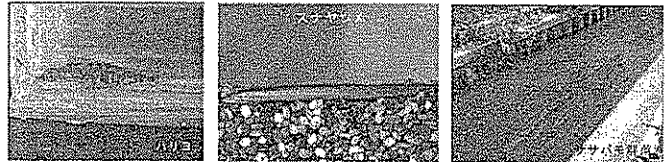
【意見の例】

- ・湾曲した部分や狭窄部を改善して、洪水に対する安全性を確保して欲しい。
- ・一番危険なところから、上下流左右岸の治水バランスを考え改修して欲しい。
- ・洗堰を締切ってほしい。
- ・洗堰を締切ると大きな遊水地がなくなり不安だ。
- ・水質をもっと改善して欲しい。
- ・きれいな遊べる川にしてほしい。

牧田川圏域河川整備計画



河川工事の内容(計画横断イメージ図)



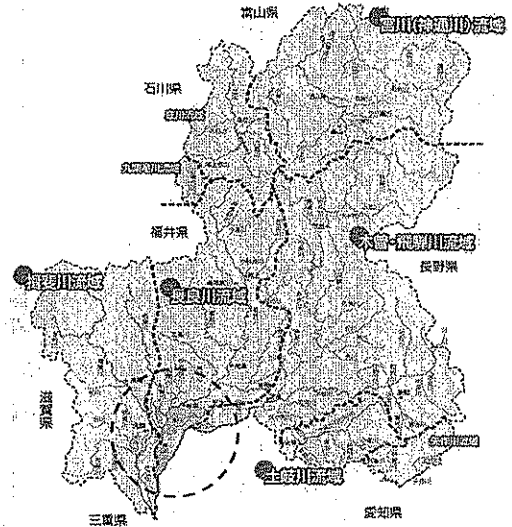
境川圏域の概要

流域面積：約79km²(境川55km²、桑原川24km²)

流路延長：約31km(境川23km、桑原川8km)

流域内人口：約67万人

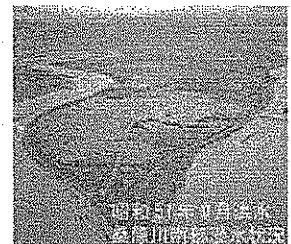
境川は各務原市を源とし、岐阜市、岐南町、笠松町、羽島市を南西に流下し、長良川に合流する一級河川
 桑原川は羽島市を源とし、境川の下流で長良川に合流する一級河川



境川圏域の治水に関する現状と課題

過去の主な水害

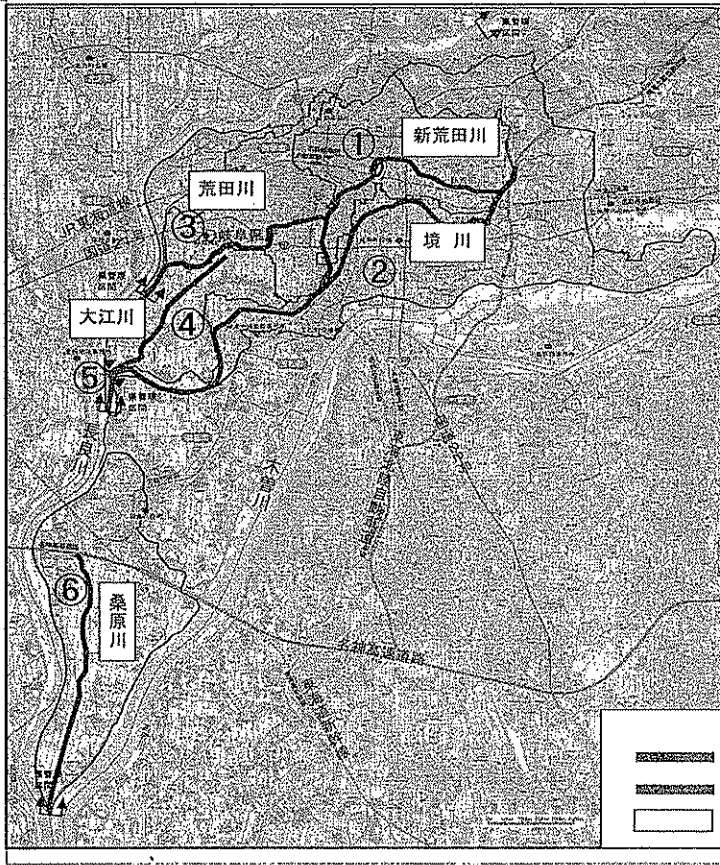
発生年月日	発生原因	浸水面積 (ha)	床上 (戸)	床下 (戸)
S34.9.26	伊勢湾台風	-	1,237	3,088
S36.6.27	梅雨全然豪雨	-	5,180	19,778
S49.7.25	豪雨	2,596	454	3,986
S51.9.12	台風第17号	4,917	4,540	18,035
H2.9.20	台風第19号	69	6	73
H4.8.12	豪雨	176	169	616
H11.9.14	台風第16,18号	13	11	24
H16.10.20	台風第23号	28	0	13



【治水上の課題】

- ①境川上流部及び新荒田川では、5年に1度の洪水に対応できない区間がある
- ②総合的な治水対策として流域貯留施設等の整備も推進しているが、市街化の進行に比べて流域対策の進捗が十分でない
- ③荒田川では無堤区間が残っており5年に1度の洪水にも対応できない区間がある
- ④大江川では、全川にわたって改修が進んでおらず、5年に1度の洪水を安全に流下させることができない。
- ⑤特に二本戸(にほんど)樋門が上流からの洪水の流下を妨げている
- ⑥桑原川では、改修が概ね完了しているが、5年に1度の洪水に安全に流下させることができない区間が一部残っている

河川工事の目標と施工場所



境川
新荒田川
荒田川
大江川
桑原川

概ね5年に1度の洪水に対応

再評価対象事業

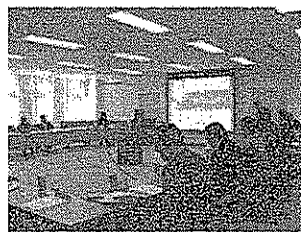
河川名	区間延長	着手年度	B/C
境川	17.9km	S63	3.1
新荒田川	1.0km	S61	3.1
荒田川	1.9km	S40	5.7
大江川	0.8km	H8	21.6
桑原川	0.8km	S55	1.2

凡 例

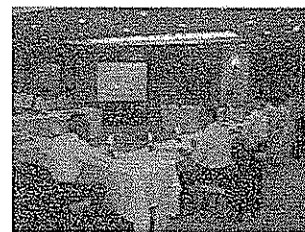
 県管理区間
 河川整備計画の対象区間
 再評価対象河川

河川整備に関する住民意見

整備計画を立案するにあたって、関係住民の意見を聴くため地域検討会、学識経験を有する者などの意見を聴くため岐阜県河川整備計画検討委員会を開催



地域検討会状況



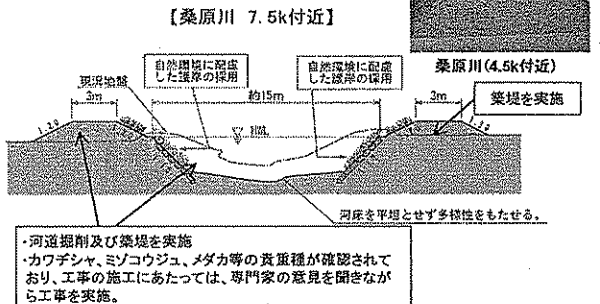
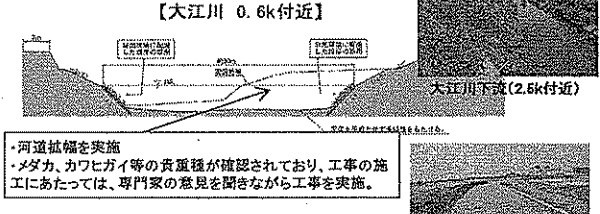
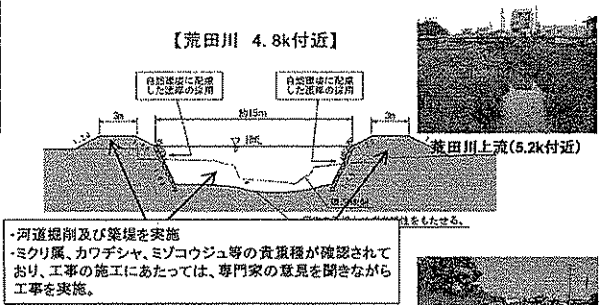
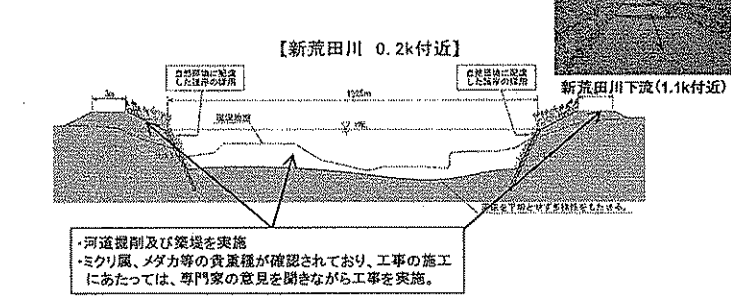
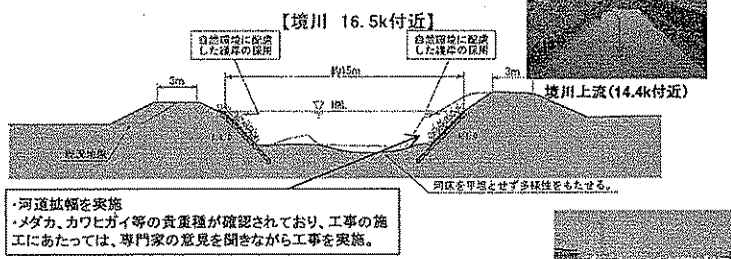
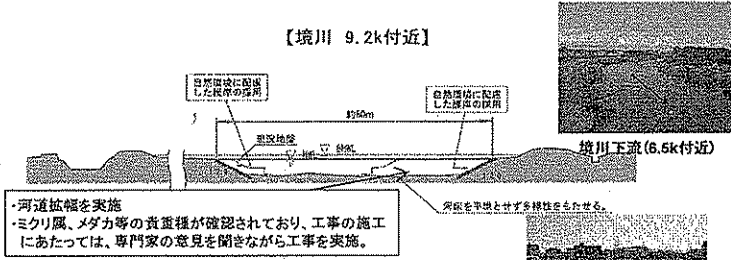
整備計画検討委員会状況

【意見の例】

- ・集中豪雨に備えて川幅を広げて欲しい。
- ・護岸整備にあたっては親水性、景観性に配慮した施設として欲しい。
- ・地域住民と協働による河川清掃活動を行っていきたい。
- ・ゴミをなくしたい。

境川圏域河川整備計画

河川工事の内容(計画横断イメージ図)



土岐川圏域河川整備計画

土岐川圏域の概要

流域面積：約430km²

流路延長：約36km

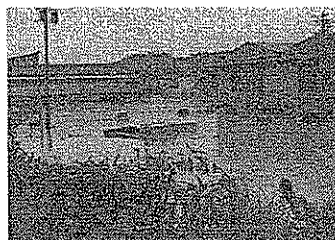
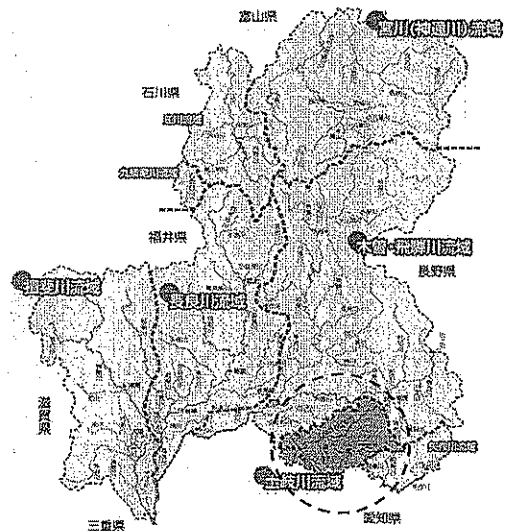
流域内人口：約22万人

土岐川は恵那市・瑞浪市・土岐市・多治見市を流れ、愛知県に入り庄内川と名称を変え、伊勢湾へ注ぐ一級河川

土岐川圏域の治水に関する現状と課題

過去の主な水害

発生年月日	発生原因	全半壊(戸)	床上(戸)	床下(戸)
S32.8.8	豪雨	13	670	3857
S34.9.26	伊勢湾台風	1,868	17	71
S46.9.26	台風第29号	0	66	923
S47.7.9	梅雨前線豪雨	62	597	856
S50.7.7	集中豪雨	0	35	73
S58.9.28	台風第10号	-	2	162
S63.9.25	集中豪雨	-	5	89
H1.9.20	台風第22号	5	295	271
H3.9.19	台風第17~19号	-	2	11
H11.6.30	梅雨前線豪雨	1	36	83
H12.9.12	台風第14号	-	1	7



S58. 9被害状況
土岐小学校付近



H11. 6被害状況
瑞浪市和合地先

【治水上の課題】

- ①土岐川の小里川合流点下流については、30年に1度の洪水に対応できない区間がある
- ②土岐川の小里川合流点上流では、小里川合流点下流に比べて整備が進んでおらず、10年に1度の洪水に対応できない区間がある
- ③支川の市之倉川、笠原川、肥田川、日吉川及び小里川については、昭和58年9月洪水や平成元年9月洪水、平成11年6月洪水等の主要洪水と同規模程度の洪水に対応できない区間がある

河川工事の目標と施工場所

土岐川(小里川下流) : 概ね30年に1度の洪水に対応
 土岐川(小里川上流) : 概ね10年に1度の洪水に対応
 市之倉川
 笠原川
 肥田川
 日吉川
 小里川

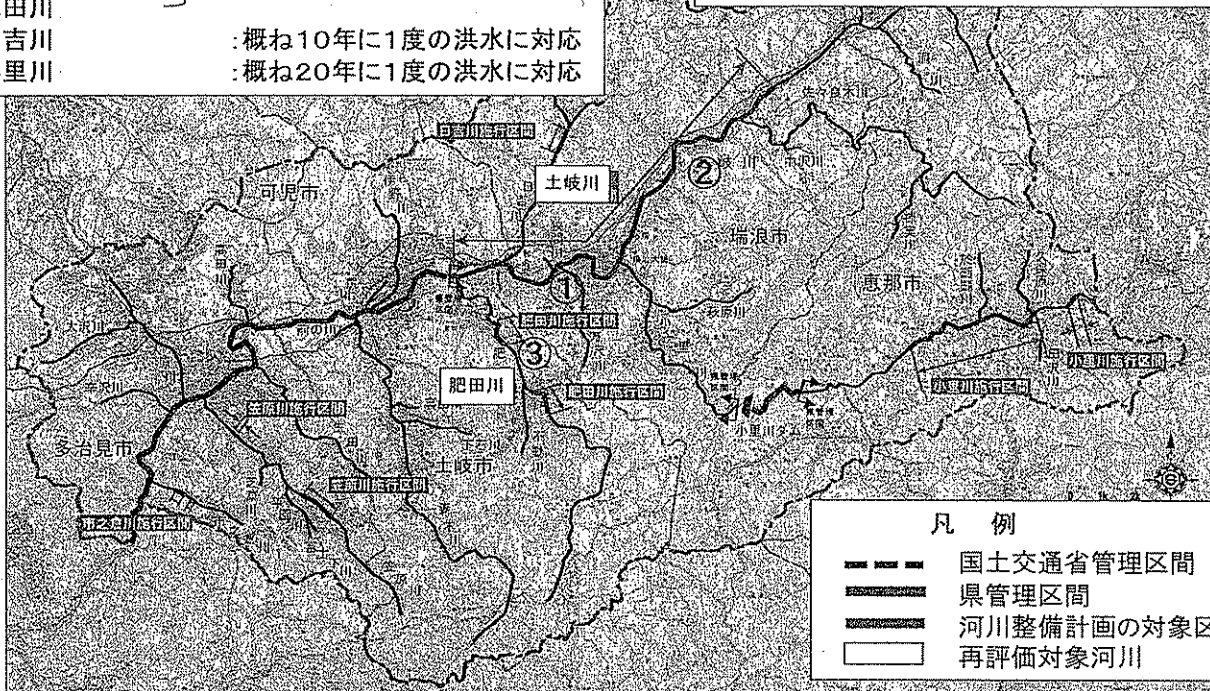
} 概ね30年に1度の洪水に対応

: 概ね10年に1度の洪水に対応

: 概ね20年に1度の洪水に対応

再評価対象事業

河川名	区間延長	着手年度	B/C
土岐川	14.5km	S49	1.3
肥田川	1.8km	H14	2.2

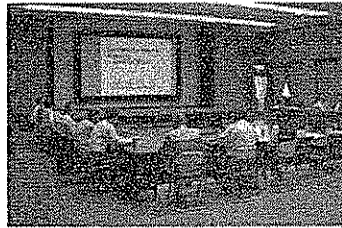
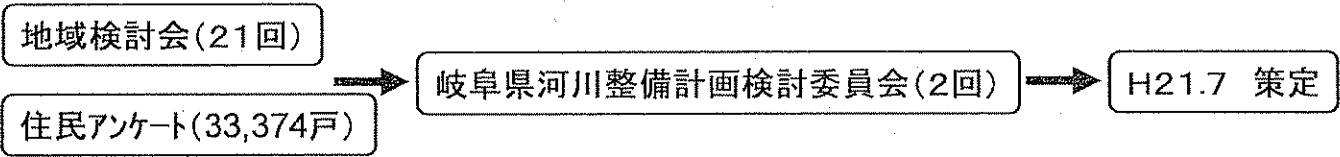


凡例

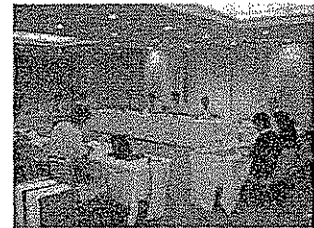
- 国土交通省管理区間
- ==== 県管理区間
- ==== 河川整備計画の対象区間
- 再評価対象河川

河川整備に関する住民意見

整備計画を立案するにあたって、関係住民の意見を聴くため地域検討会、学識経験を有する者などの意見を聴くため岐阜県河川整備計画検討委員会を開催



地域検討会状況

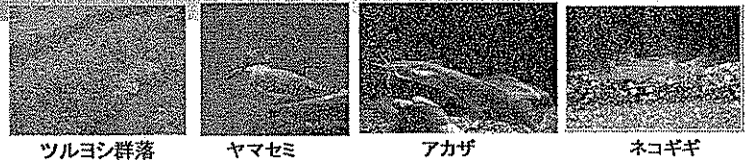


整備計画検討委員会状況

【意見の例】

- ・洪水の心配がなく、安心して暮らせる街にして欲しい。
- ・コンクリート護岸をなるべくつくらず、多くの生物が生息する川にして欲しい。
- ・きれいな水が流れる川にして欲しい。
- ・人が利用しやすく、安全で、危険なく遊べ、水に親しめる水辺空間にして欲しい。

河川工事の内容(計画横断イメージ図)



ツルヨシ群落

ヤマセミ

アカザ

ネコギギ

